

## 1 学年進路ワークショップ「金銭基礎教育プログラム”MONEY CONNECTION”

2月9日(水)進路ワークショップ「MONEY CONNECTION(マネーコネクション)」が1年生5クラスで開催されました。マネーコネクションは、若年層の無業化予防を目指して、主に高校生を対象に、働くことやお金と将来の生活について考えるきっかけの提供を目的として、ワークショップ形式で実施する金銭基礎教育プログラムです。本校では、毎年キャリアファシリテーター協会から講師先生6名にお越しいただき、講習を行っていただいております。今年も講師先生の丁寧で巧みな御指導により、生徒は生き生きとワークシートに取り組んでいました。



(テレビの取材カメラが入っていたこともあり、少し緊張した空気の中スタートしました。)

1つ目の活動は、「生活にかかるお金」をテーマとして行われました。まず、生徒それぞれが、「月収20万円・賃貸住宅に一人暮らし」の設定で「生活するのにどれくらいのお金が必要なのか？」を試算しました。保険料や年金の掛け金、また住民税や所得税等も考慮に入れ、生徒たちは未来の自分の姿に思い



(緊張がほぐれると、活発に発言する姿も見られました。)

を巡らせ、生活設計を考えました。その後、講師の先生から一般的な試算を教えてもらい、「そんなに税金高いん!?!」「保険の掛け金が高すぎる!」などと、生徒たちは一様に驚いた表情を見せました。

2つ目の活動は、「10年後の自分の状況」をテーマに行われました。まず、生徒たちは、配布された「職種と雇用形態」、「月収」が記された2枚のカードの設定をもとに、10年後の生活設計を立てていきます。次に、講師



(カードとワークシートを活用しながら、丁寧にわかりやすく解説していただきました。)

先生より、雇用形態の違いによる利点・心配点を確認し、最後に、金銭に関する意識のまとめが行われ、講習の感想も記入し、講習が修了しました。

今回の活動を通して、生徒たちはお金と生活に関する現実初めて直面したことと思います。高校1年生という現在地では、まだまだ社会に出る、大人になるということに実感が持てていないことと思います。しかし、高校卒業まであと2年しかありません。さらに、進学・就職を問わず、実質的な進路決定の時期は1年半後に迫っています。これからは、大人になるということ意識し、自分の将来について考えることが今まで以上に必要となります。今回の活動がその第一歩となり、生徒一人一人が悔いのない進路選択、自己実現へとつなげてくれることを願っています。